

(様式1)

## 平成23年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 090	提案機関名 かながわ西湘農業協同組合
<b>要望問題名</b> 湘南ゴールドの霜あたり果対策について	
<b>要望問題の内容</b> 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 現在適地と言われている地域で栽培された湘南ゴールドにも霜あたり果が混入しており、外観での判別ができず、選果作業に支障をきたしており、販売先への混入によるブランド低下が懸念される。発生原因の究明と100トン出荷があっても簡易的に判別できる方法の（機械識別の低価格の商品）確立をお願いします。	
<b>解決希望年限</b>	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内    ③4～5年以内    ④5～10年以内
<b>対応を希望する研究機関名</b>	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター    ②畜産技術所    ③水産技術センター ④自然環境保全センター
<b>備考</b>	

<b>回答機関名</b>	農業技術センター	<b>担当部所</b>	経営情報研究部
<b>対応区分</b>	①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中    ③継続検討    ④実施済    ⑤調査指導対応    ⑥現地対応    ⑦実施不可		
<b>試験研究課題名</b> (①、②、④の場合) 湘南ゴールドの機能性成分及び品質保持（非破壊品質評価法の開発）			
<b>対応の内容等</b> 現在上記試験研究課題の中で、携帯型近赤外分析装置による湘南ゴールドの空洞、糖度測定技術の開発を行っており、非破壊的な測定の可能性が見いだされています。大量に測定をする場合は、オンラインの装置を使用する必要があると思われます。原理的には、現在研究中の携帯型と同様なため、研究成果の応用は可能です。オンライン、オフラインの装置とも低価格化が進んでおり、多種多様な物が開発されておりますので、導入を検討するときに協力いたします。他の方法については、適する方法が現在のところありませんが、今後検討を重ねます。 また、発生原因の究明と栽培上の対策については、足柄地区事務所で取組中です。			
<b>解決予定年限</b>	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内    ③4～5年以内    ④5～10年以内		
<b>備考</b>			